

キリストの聖体

第一朗読 申命記 8・2-3、14b-16a
第二朗読 一コリント 10・16-17
福音朗読 ヨハネ 6・51-58

2026.6.7

カトリック高円寺教会 9:30
主任司祭 高木健次神父

今日は子どもと共に捧げるミサ——いつも共に捧げてるんですけど、今日はメインで役割をしてくださってます。そして今日このごミサの中で、お二人が初聖体を受けます。初めての御聖体——御聖体って、ミサの中で大人の人たちが大体もらって、スカウトのみんなも欲しいなと思いつつながら、みんなにはもらえないんですってなんですけど——、今日初聖体の子たちは準備して、そして2年生ぐらいになったらそれをもたらう役になるんです。

イエス様があの十字架の上にいらっしゃいますけど、でもその十字架の上にいらっしゃるイエス様が祭壇の上にやって来て、そして御聖体になって、そしてみんなの体の中に入って行く。だんだんだんだんイエス様は近づいて来るに従って、姿は見えなくなっちゃうんだね。

だけど、みんなの中に入って姿が見えないイエス様が、どうしてみんなの体の中に来るのかと言えば、1つはみんなを大切にするためだし、もう1つはみんなに大切にしてもらいたいからなんだよね。一緒にいるっていうのは、どっちか片一方だけが大切にするんじゃなくて、お互いに仲良くする。そのために来ますけど、でも今日初聖体を迎える子たちは、ずっと、他の兄弟や教会学校の上の子たちはだんだんもらうようになってんのに、自分はなかなかもらえなくて、まだかなって——祝福ばかりだったけど——、でも、自分もみんなと同じようにもらいたいなってずっと思いながら1年、2年過ごしてきたっていうのがとっても大切な準備です。もちろん教会学校のリーダーが3回ぐらい直接いろんな準備もしてくれましたけど——それも大切なんだけど——、ずっと待っている、とっても大切なことはずっと待っているっていうことが大事です。

でも、じゃあ御聖体をもたらう前はイエス様はいつも一緒にいないのかって言えば、御聖体をもたらっている他の人を通して、まだもらってない人たちにもイエス様が一緒

にいるから、もらってる人だけじゃないんです。だから、みんなを代表してもらって、その役になるわけです。なので、それは大人の人にも思い起こして欲しいんです。自分のためだけに御聖体はあるのではないわけです。自分のためだけ。そしたら、イエス様の心とは全然正反対だよ。自分さえ良ければいいっていうのはね。そうじゃない。イエス様を迎える、他の人のためにその役になります。その役を果たしています。そういうことを、これからだんだんだんだん——姿が見えないイエス様とお話しするっていうのは、簡単なんですけど今までの他の人とのやり方とは違うので、そのイエス様のとのお話の仕方に慣れていく必要があります。それをお祈りって言います。

ですから、今日一緒に初聖体を受けるお二人と共に、わたしたち既に御聖体をいただいている者は、その役割の大切さを改めて思い出して、そしてイエス様が自分と一緒に過ごそうとされているっていう心、そしてそれは自分のためだけじゃなくて、御聖体をもらってない他の人のために、人類を代表してイエス様を迎える、その役割に入るんだということを思って欲しいです。

そして、スカウトの人にはいつも「ミサには相言葉があります」と言っていますが——さっきも言えてたと思うけど、ちょっと元気に言ってみようか——、「主は皆さんと共に」（「またあなたと共に」）。ありがとうございます。そうなんだよね。

「主」って誰だ知ってる？ 主ってイエス様のことね。イエス様はみんなと一緒にいるし、あなたと一緒にいる。イエス様はわたしと一緒にいるし、あなたと一緒にいるんですよっていうのを確認するっていうのがこのごミサ。「じゃあ一言で言えばいいじゃん」って思うけど、やっぱり人間はすぐ忘れちゃうから、特別なお式をして、そしていつもそれを忘れないように思い出す、神様の、イエス様の恵みに助けてもらいながら。そしたら、それが心強いことになっていくんですね。

だから今日、「主は皆さんと共に」、「またあなたと共に」ということを確認し、言い聞かせ、そして実際にイエス様ご自身によってそれを助けていただく御聖体をいただきます。そのことを改めて思い起こし、喜びのうちに初聖体の子たちを新しい仲間を迎えるごミサと一緒に捧げていきたいと思えます。

じゃあお話は終わりです。じゃあ、信仰宣言を唱えましょう。

ミサ説教はカトリック高円寺教会ホームページの「ミサ説教」のページにも掲載されています。

PC <http://www.koenji-catholic.jp/cgi-bin/wiki/wiki.cgi>

携帯 <http://www.koenji-catholic.jp/mobile/>